

# 決算短信補足資料

(2013年3月期 第2四半期決算)

2012年10月30日

西日本旅客鉄道株式会社

# 1.決算ハイライト

(単位:億円)

	2012年3月期 2Q累計実績	2013年3月期 2Q累計実績	対前年		2012年3月期 通期実績	2013年3月期通期		対前年		対予想 増減
			増減	比率(%)		前回(7/27) 予想	今回(10/30) 予想	増減	比率(%)	
	A	B	B-A	B/A	C	D	E	E-C	E/C	E-D
<b>【連結】</b>										
営業収益	6,281	6,394	+113	101.8	12,876	12,880	12,890	+13	100.1	+10
営業利益	603	717	+113	118.8	1,097	1,115	1,210	+112	110.2	+95
経常利益	447	578	+131	129.4	824	865	960	+135	116.4	+95
四半期(当期)純利益	257	347	+89	134.9	294	510	560	+265	189.9	+50
<b>【単体】</b>										
営業収益	4,262	4,367	+105	102.5	8,621	8,625	8,635	+13	100.2	+10
運輸収入	3,771	3,850	+78	102.1	7,587	7,600	7,650	+62	100.8	+50
営業費用	3,701	3,755	+53	101.5	7,728	7,720	7,645	83	98.9	75
人件費	1,179	1,169	9	99.2	2,379	2,335	2,330	49	97.9	5
物件費	1,537	1,629	+91	105.9	3,395	3,475	3,415	+19	100.6	60
動力費	179	187	+8	104.6	362	395	380	+17	104.9	15
修繕費	554	601	+47	108.5	1,333	1,350	1,345	+11	100.8	5
業務費	804	840	+35	104.5	1,699	1,730	1,690	9	99.4	40
減価償却費	679	658	21	96.9	1,407	1,350	1,345	62	95.5	5
営業利益	560	612	+51	109.3	892	905	990	+97	110.9	+85
経常利益	411	471	+60	114.6	628	660	745	+116	118.5	+85
四半期(当期)純利益	240	254	+14	106.0	221	410	410	+188	185.0	-

## 2. 単体損益計算書

(単位: 億円)

	2012年3月期 2Q累計実績 A	2013年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	4,262	4,367	+105	102.5
運輸収入	3,771	3,850	+78	102.1
その他収入	490	517	+27	105.6
営業費用	3,701	3,755	+53	101.5
人件費	1,179	1,169	9	99.2
物件費	1,537	1,629	+91	105.9
動力費	179	187	+8	104.6
修繕費	554	601	+47	108.5
業務費	804	840	+35	104.5
線路使用料等	126	119	6	94.5
租税公課	179	179	+0	100.3
減価償却費	679	658	21	96.9
営業利益	560	612	+51	109.3
営業外損益	148	140	+8	94.5
営業外収益	17	14	2	-
営業外費用	166	155	10	-
経常利益	411	471	+60	114.6
特別損益	7	28	+36	-
特別利益	70	232	+162	-
特別損失	77	204	+126	-
四半期純利益	240	254	+14	106.0

# 3.運輸収入の主な増減要因

(単位:億円)

		2013年3月期 2Q累計実績			
		運輸収入	対前年	主な増減要因	
新幹線	1,788	+44 (102.6%)	基礎トレンド(102.0%)	+35	
			特殊要因	東日本大震災反動増	+10
				GWご利用増	+3
				台風12号反動	+1
九州新幹線との直通運転効果	13				
			等		
在来線	1,458	+24 (101.7%)	基礎トレンド(100.9%)	+12	
			特殊要因	東日本大震災反動増	+6
				台風12号反動	+4
				GWご利用増	+2
			等		
在来線	603	+9 (101.6%)	基礎トレンド(100.2%)	+0	
			特殊要因	東日本大震災反動増	+5
				台風12号反動	+3
				GWご利用増	+2
			等		
在来線計		2,061	+33 (101.7%)		
運輸収入計		3,850	+78 (102.1%)		

荷物収入は金額些少のため省略

# 4.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位:億円)

	2Q累計実績(4/1～9/30)			2Q実績(7/1～9/30)		
	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年
全社計	3,771	3,850	+78 102.1%	1,970	1,972	+2 100.1%
新幹線	1,743	1,788	+44 102.6%	930	923	▲7 99.2%
定期	45	46	+0 101.3%	22	22	+0 101.2%
定期外	1,698	1,742	+44 102.6%	907	900	▲7 99.2%
在来線	2,028	2,061	+33 101.7%	1,039	1,048	+9 100.9%
定期	714	713	▲0 99.9%	353	353	▲0 100.0%
定期外	1,313	1,347	+34 102.6%	685	695	+9 101.4%
近畿圏	1,434	1,458	+24 101.7%	724	731	+7 101.1%
定期	576	575	▲0 99.9%	285	285	▲0 100.0%
定期外	858	883	+24 102.8%	438	446	+7 101.8%
その他	593	603	+9 101.6%	315	316	+1 100.5%
定期	138	138	▲0 100.0%	68	68	+0 100.1%
定期外	455	464	+9 102.1%	246	248	+1 100.6%

輸送人キロ

(単位:百万人キロ)

	2Q累計実績(4/1～9/30)			2Q実績(7/1～9/30)		
	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年
全社計	27,197	27,741	+543 102.0%	14,025	14,046	+20 100.1%
新幹線	8,359	8,595	+236 102.8%	4,503	4,456	▲47 98.9%
定期	368	376	+8 102.3%	181	185	+3 102.2%
定期外	7,991	8,219	+227 102.8%	4,322	4,270	▲51 98.8%
在来線	18,838	19,145	+307 101.6%	9,522	9,590	+67 100.7%
定期	11,755	11,763	+8 100.1%	5,741	5,746	+5 100.1%
定期外	7,082	7,381	+298 104.2%	3,780	3,843	+62 101.7%
近畿圏	14,282	14,499	+216 101.5%	7,145	7,195	+50 100.7%
定期	9,478	9,486	+7 100.1%	4,640	4,643	+3 100.1%
定期外	4,804	5,013	+209 104.4%	2,504	2,551	+47 101.9%
その他	4,555	4,645	+90 102.0%	2,377	2,394	+16 100.7%
定期	2,276	2,277	+0 100.0%	1,100	1,102	+1 100.2%
定期外	2,278	2,368	+89 103.9%	1,276	1,291	+15 101.2%

# 5.単体営業費用の主な増減要因

(単位:億円)

科目	2013年3月期 2Q累計実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	1,169	9 (99.2%)	・数理差異償却減 14 等
動力費	187	+8 (104.6%)	・燃料価格上昇 + 10 等
修繕費	601	+47 (108.5%)	・工事進捗差等 + 25 ・自己資金撤去工事費増 + 10 等
業務費	840	+35 (104.5%)	・会社間清算増 + 16 ・システム関連経費増 + 5 ・発売手数料増 + 3 等
線路使用料等	119	6 (94.5%)	・JR東西線使用料減 7 等
租税公課	179	+0 (100.3%)	
減価償却費	658	21 (96.9%)	・2007年度税制改正に伴う残存簿価均等償却終了 29 等
営業費用計	3,755	+53 (101.5%)	

# 6.連結損益計算書

(単位:億円)

	2012年3月期 2Q累計実績 A	2013年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	6,281	6,394	+113	101.8
営業費用	5,677	5,676	0	100.0
営業利益	603	717	+113	118.8
営業外損益	156	139	+17	88.8
営業外収益	24	18	6	-
営業外費用	181	157	23	-
経常利益	447	578	+131	129.4
特別損益	3	11	7	-
特別利益	94	238	+143	-
特別損失	98	249	+151	-
四半期純利益	257	347	+89	134.9
<i>四半期包括利益</i>	<i>249</i>	<i>259</i>	<i>+9</i>	<i>103.9</i>

# 7.セグメント情報

(単位:億円)

	2012年3月期 2Q累計実績 A	2013年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 <sup>*1</sup>	6,281	6,394	+113	101.8
運輸業	4,146	4,249	+103	102.5
流通業	1,150	1,152	+1	100.2
物販・飲食	670	669	0	99.9
百貨店	453	452	0	99.8
不動産業	437	437	0	100.0
ショッピングセンター	267	271	+4	101.5
不動産賃貸・販売 <sup>*3</sup>	162	158	3	97.7
〔分譲事業〕	〔29〕	〔22〕		
その他	546	554	+7	101.4
ホテル	152	159	+6	104.5
旅行	153	172	+19	112.6
営業利益 <sup>*2</sup>	603	717	+113	118.8
運輸業	495	550	+54	111.0
流通業	19	6	+12	-
物販・飲食	19	23	+3	119.3
百貨店	40	31	+8	-
不動産業	116	141	+25	121.7
ショッピングセンター	39	45	+6	116.8
不動産賃貸・販売	31	39	+7	124.7
その他	3	24	+20	669.6
ホテル	3	7	+4	230.7
旅行	16	2	+14	-

<sup>\*1</sup> 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

<sup>\*2</sup> 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

<sup>\*3</sup> [ ]は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。



# 8.単体業績予想

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/27) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	8,621	8,625	8,635	+13	100.2	+10
運輸収入	7,587	7,600	7,650	+62	100.8	+50
その他収入	1,034	1,025	985	49	95.2	40
営業費用	7,728	7,720	7,645	83	98.9	75
人件費	2,379	2,335	2,330	49	97.9	5
物件費	3,395	3,475	3,415	+19	100.6	60
動力費	362	395	380	+17	104.9	15
修繕費	1,333	1,350	1,345	+11	100.8	5
業務費	1,699	1,730	1,690	9	99.4	40
線路使用料等	236	236	235	1	99.5	1
租税公課	309	324	320	+10	103.4	4
減価償却費	1,407	1,350	1,345	62	95.5	5
営業利益	892	905	990	+97	110.9	+85
営業外損益	264	245	245	+19	92.8	-
営業外収益	71	65	65	6	-	-
営業外費用	335	310	310	25	-	-
経常利益	628	660	745	+116	118.5	+85
特別損益	17	-	15	+32	-	+15
特別利益	231	-	-	-	-	-
特別損失	248	-	-	-	-	-
当期純利益	221	410	410	+188	185.0	-

# 9.運輸収入の見通し

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/27) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
新幹線	3,515	3,535	3,540	+24	100.7	+4
在来線	近畿圏	2,873	2,867	+30	101.1	+36
	その他	1,198	1,196	+7	100.6	+9
	在来線計	4,072	4,064	4,109	+37	100.9
運輸収入計	7,587	7,600	7,650	+62	100.8	+50

荷物収入は金額些少のため省略

# 10.単体営業費用の見通し

(単位:億円)

科目	2013年3月期 通期見通し			
		対前年	主な対前年増減要因	対前回
人件費	2,330	49 (97.9%)	・数理差異償却減 等	5
動力費	380	+17 (104.9%)	・燃料価格上昇 等	15
修繕費	1,345	+11 (100.8%)	・業務波動 等	5
業務費	1,690	9 (99.4%)	・会社間清算減 等	40
線路使用料等	235	1 (99.5%)		1
租税公課	320	+10 (103.4%)	・固定資産税増 等	4
減価償却費	1,345	62 (95.5%)	・2007年度税制改正に伴う残存簿価均等償却終了 等	5
営業費用計	7,645	83 (98.9%)		75

# 11.連結業績予想

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/27) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	12,876	12,880	12,890	+13	100.1	+10
営業費用	11,778	11,765	11,680	98	99.2	85
営業利益	1,097	1,115	1,210	+112	110.2	+95
営業外損益	273	250	250	+23	91.4	-
営業外収益	79	70	70	9	-	-
営業外費用	352	320	320	32	-	-
経常利益	824	865	960	+135	116.4	+95
特別損益	22	20	30	7	-	10
特別利益	276	-	-	-	-	-
特別損失	298	-	-	-	-	-
当期純利益	294	510	560	+265	189.9	+50
1株当たり当期純利益(円)	152.29	263.37	289.19	-	-	-

# 12.連結業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/27) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益 <sup>*1</sup>	12,876	12,880	12,890	+13	100.1	+10
運輸業	8,390	8,394	8,404	+13	100.2	+10
流通業	2,335	2,358	2,358	+22	101.0	-
物販・飲食	1,334	1,337	1,337	+2	100.2	-
百貨店	949	976	976	+26	102.8	-
不動産業	935	895	895	40	95.6	-
ショッピングセンター	543	543	543	0	99.9	-
不動産賃貸・販売 <sup>*3</sup>	376	337	337	39	89.5	-
【分譲事業】	【107】	【65】	【65】			
その他	1,214	1,233	1,233	+18	101.5	-
ホテル	321	329	329	+7	102.4	-
旅行	372	388	388	+15	104.2	-
営業利益 <sup>*2</sup>	1,097	1,115	1,210	+112	110.2	+95
運輸業	767	780	865	+97	112.7	+85
流通業	29	24	16	+13	-	+8
不動産業	259	260	262	+2	100.8	+2
その他	103	102	102	1	98.3	-

<sup>\*1</sup> 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。  
内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

<sup>\*2</sup> 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

<sup>\*3</sup> 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

# 13.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位:億円)

	2012年3月期 期末 A	2013年3月期 2Q期末 B	増減 B-A
資産	26,429	25,732	697
負債	19,094	18,235	859
純資産	7,335	7,497	+162
長期債務残高	10,688	10,326	361
【長期債務平均金利(%)】	[2.86]	[2.86]	-
新幹線債務	2,845	2,684	160
【新幹線債務平均金利(%)】	[5.56]	[5.60]	[+0.04]
社債	4,549	4,399	149
【社債平均金利(%)】	[2.07]	[2.13]	[+0.06]
自己資本比率	26.6	28.3	+1.7
1株当たり純資産(円)	3,632.41	3,759.46	+127.05

	2012年3月期 2Q累計実績 A	2013年3月期 2Q累計実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	626	925	+298
投資活動によるキャッシュフロー	1,064	655	+408
フリーキャッシュフロー	437	269	+707
財務活動によるキャッシュフロー	40	399	440
現金及び現金同等物の増減	396	129	+266
現金及び現金同等物の期末残高	404	373	30

# 14.諸元表

(単位:人、億円)

	2012年3月期 2Q累計実績		2013年3月期 2Q累計実績		2012年3月期 通期実績		2013年3月期 通期予想	
連結ROA (%)	2.3		2.8		4.1		4.6	
連結ROE (%)	3.7		4.9		4.2		7.8	
連結EBITDA <sup>*1</sup>	1,426		1,507		2,791		2,825	
連結減価償却費	822		789		1,693		1,615	
連結設備投資(自己資金)	871		499		1,954		1,570	
単体設備投資(自己資金)	572		376		1,508		1,270	
安全関連投資	374		194		977		690	
1株当たり配当金(円)	40		55		90		110	

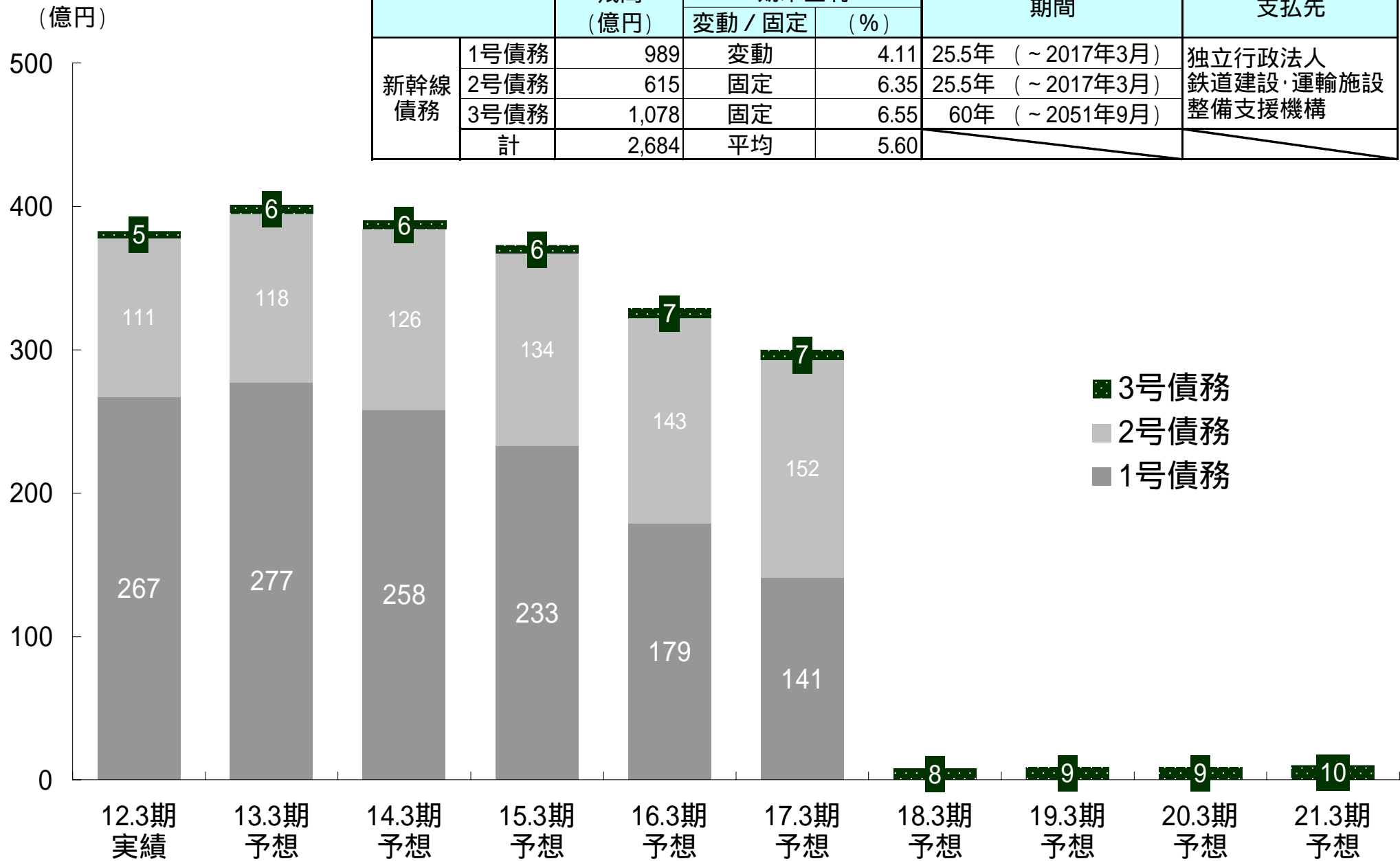
\*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

	2012年3月期 2Q累計実績		2013年3月期 2Q累計実績		2012年3月期 通期実績		2013年3月期 通期予想	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数(就業人員)	45,978	26,989	45,642	26,971	45,402	26,778	-	-
金融収支	163	157	153	146	324	312	302	290
受取利息・配当金	2	8	2	7	4	14	4	13
支払利息	166	165	155	154	329	326	307	304

# 15.新幹線債務償還計画

【2012年9月末】

	残高 (億円)	期末金利		期間	支払先	
		変動 / 固定	(%)			
新幹線 債務	1号債務	989	変動	4.11	25.5年 ( ~ 2017年3月)	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設 整備支援機構
	2号債務	615	固定	6.35	25.5年 ( ~ 2017年3月)	
	3号債務	1,078	固定	6.55	60年 ( ~ 2051年9月)	
	計	2,684	平均	5.60		





# 将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
  - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
  - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
  - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
  - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
  - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2012年10月30日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2012年10月30日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。